

実験を取り入れた授業の工夫

発表者氏名： 金林 安恵

所属学校種： 山口県下松市立久保中学校

派遣職種： 理数科教師

派遣国： インドネシア

派遣先： 国立アルンケケ第一中学校
(南スラウェシ州ジェネポント県)

キーワード： 実験・教員同士の学びあい

発表要旨：

私は、インドネシアの南スラウェシ州ジェネポント県にあるアルンケケ第一中学校で、理科の教員として活動しました。

インドネシアでは、カリキュラムの改訂により、化学分野が中学校の理科に導入されましたが、教員も化学分野について指導した経験がほとんどありませんでした。そこで実験を取り入れた授業を生徒に行うとともに、教員の指導力も向上させることが求められていました。

実際に配属先校に行くと、実験道具はたくさんそろっているものの、教員が使い方を知らず、使われないままになっていました。また、生物専門の教員しかおらず、物理分野の実験もほとんど行われていませんでした。授業は膨大な量の定理や公式を覚えることが中心でした。

そこで、倉庫に埋もれていた実験道具や身近にある材料を用いて実験を授業に取り入れ、生徒が自ら考える授業を実践しました。また、放課後を利用して同僚教員と実験の準備や練習を行い、教員にも実験に関する知識や技術を身につけてもらいました。

さらに、配属先の県で専門家によって授業研究のプロジェクトが行われていたので、配属先校や郡内の学校で授業研究に取り組み、他教科の教員や他校の教員とも授業の改善について研修しました。

さらに、同国内の理数科教師隊員と協力し、ワークショップを開いたり、教科書の改善について話し合ったり、広い範囲での活動も関わることができました。

このような活動だけでなく、ホームステイをし、地域の方とたくさんの交流をもち、さまざまな経験をすることができました。

